

特別会計

市が特定の事業を行うための会計

	歳入決算額			歳出決算額		
	24年度 A	23年度 B	前年度比 A/B (%)	24年度 A	23年度 B	前年度比 A/B (%)
特別会計						
国民健康保険	92億9,860万円	88億3,924万円	105	83億9,902万円	81億9,110万円	103
後期高齢者医療	16億5,118万円	15億3,662万円	107	16億2,027万円	15億2,323万円	106
介護保険	53億8,883万円	49億6,855万円	110	53億2,539万円	48億6,853万円	109
公共下水道事業	30億2,363万円	32億4,766万円	93	29億7,114万円	32億1,062万円	93
農業集落排水事業	9億7,839万円	9億3,775万円	104	9億6,710万円	9億2,882万円	104
土地取得事業	588万円	925万円	64	446万円	828万円	54
野洲川基幹水利施設管理事業	2,044万円	2,120万円	96	2,043万円	2,117万円	97
鉄道経営安定対策基金	3億1,126万円	2,159万円	1,442	3億1,127万円	2,159万円	1,442
鉄道施設整備基金	2億8,007万円	3,570万円	785	2億8,007万円	3,570万円	785
国民健康保険診療所	-	4億6,504万円	皆減	-	4億6,074万円	皆減
浄化槽管理事業	2億9,349万円	2億2,202万円	132	2億1,498万円	1億9,368万円	111
介護老人保健施設事業	-	4億7,733万円	皆減	-	2億4,166万円	皆減
小計	212億5,177万円	206億5,025万円	103	201億1,413万円	196億6,762万円	102
企業会計						
病院事業	7億8,542万円	7億4,617万円	105	9億7,811万円	9億2,267万円	101
水道事業	33億9,829万円	33億9,033万円	103	38億9,575万円	37億7,733万円	103
診療所事業	2億7,388万円	-	皆増	2億3,488万円	-	皆増
介護老人保健施設事業	3億7,777万円	-	皆増	2億9,618万円	-	皆増
小計	46億9,886万円	40億5,520万円	116	53億3,222万円	46億8,000万円	113
合計	259億5,063万円	247億5,455万円	105	254億1,735万円	243億4,762万円	104

※企業会計の決算額は、「収益的収入・支出」と「資本的収入・支出」の合算です。

※「-」については、特別会計の国民健康保険診療所特別会計と介護老人保健施設事業特別会計が24年度から企業会計に移行したことによるものです。

先人の読めない景気動向が続くなかで、市財政の健全化にむけて、「歳入に見合った歳出」の徹底による経費の削減、「返す以上に借りない」ことを基本とした市債の新規発行の抑制、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化の堅持について、着実に取り組んでまいりました。こうしたなか、平成24年度の予算は、「市民と共に生み出す、ふるさと進化予算」として、市民サービスの向上と生涯を通じた人づくりや安全・安心な暮らしを目指して、優先すべき5つの重点テーマを掲げ、必要箇所には重点的かつ戦略的に予算配分を行いました。

具体的には、公共施設の地域等への移譲、事務事業の見直し、特別職等の給料の独自削減等、引き続き行財政改革を着実に実践し経費削減に努めました。その一方で、信楽高原鐵道の公有民営化に伴う今後10年間の必要経費の鉄道施設基金への積み

立てや、民間の金融機関から借り入れた市の起債（市の借金）の繰上げ償還など新たに支出する経費も計上しました。その結果、24年度末の市の起債残高は、平成18年度ピーク時の439億円から平成24年度末には約87億円を減らすことができ、各財政指標も改善することができました。

当市は民間企業のキャッシュフロー（総現金収支）計算書方式では、23億6,800万円の赤字で2011年度で近畿自治体198のうち22位まで改善されてきています。しかしながら、法人市民税等が増加しており、引き続き限られた財源の有効活用と財政健全化に向け取り組むことにより、地方交付税の縮小が課題となる合併特例期間の終了後も、市財政が健全に運営できるよう、市民の皆さんのご理解のもと、今なすべきことをしっかりと実行してまいります。



甲賀市長 中嶋 武嗣

財源の有効活用と財政健全化に向け 取り組みで状況を改善

平成24年度の甲賀市の決算をお知らせします。「甲賀市総合計画」を実現するため、5つの重点テーマを掲げ、市民サービスの向上と生涯を通じた人づくりや安全・安心な暮らしをめざして、スピード感をもって施策を実施しました。

平成24年度

甲賀市決算

一般会計

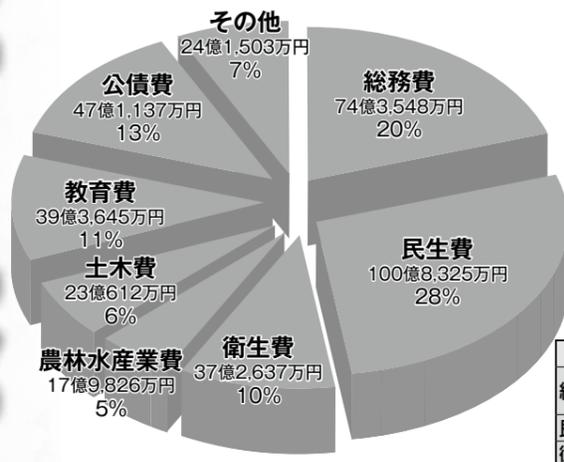
市の基本となる会計

歳入決算額
374億709万円

市民1人あたりの市税負担額

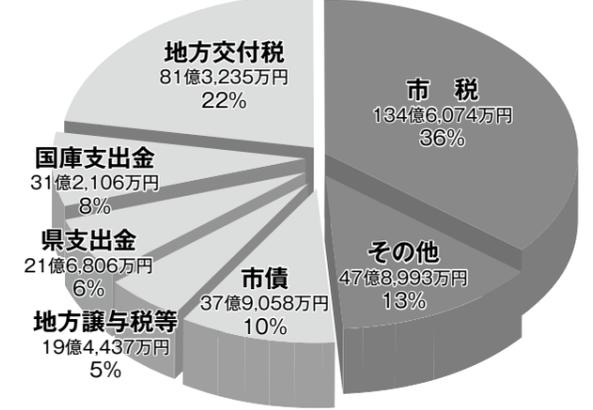
45,706円

※市税（個人市民税）の収入を平成25年3月31日現在の人口（93,681人）で割って計算しました。



※その他は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費の合計

自主財源 182億5,067万円 49%
依存財源 191億5,642万円 51%



※その他は、分担金・負担金、使用料・手数料、寄附金など

歳出決算額
364億1,233万円

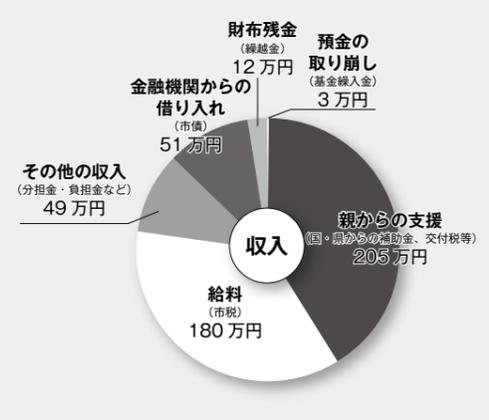
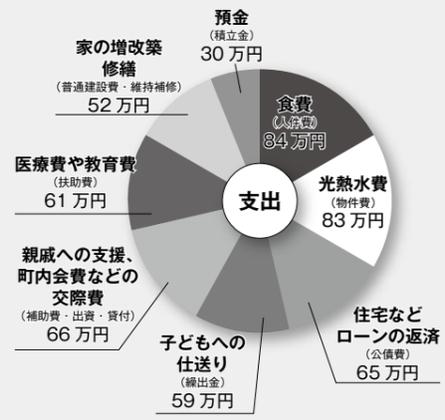
市民1人あたりに支出したお金

388,684円

項目	内容	金額
総務費	地域情報化基盤整備事業や地域コミュニティに	79,370円
民生費	高齢者や子ども、障がい者の福祉に	107,634円
衛生費	健康で衛生的な生活環境の推進に	39,777円
農林水産業費	農業や林業の振興、農業用施設の維持管理などに	19,196円
土木費	道路や公園などの公共施設の整備に	24,617円
教育費	学校教育の充実、図書館・公民館の維持管理、文化・スポーツの振興に	42,020円
公債費	市が借りたお金の返済に	50,292円
その他	消防防災、商工業の振興、議会の運営経費、災害復旧など	25,778円

介護保険や後期高齢者医療、生活扶助、保育園費などの民生費の支出が一番多くなっています。

年間収支500万円の家計に置き換えてみると...



食費や光熱水費はできるだけ節約して、医療費や教育費のほか家の増改築や預金など、家族の生活や将来にとって必要な経費などに大きく割いています。また、ローンを前倒して返済してきたおかげでローン残高が減少してきました。（23年度末：509万円⇒24年度末：483万円）

1年間の収入では、親からの支援（205万円）と給料（180万円）で全体の77%を占めています。そのほか金融機関からの借り入れ（51万円）や預金の取崩し（3万円）などでやりくりしています。